

# 青梅市立第一中学校 「言葉の力」を中核とした学校づくり

言葉は、知的活動、感性・情緒、コミュニケーション能力の基盤を成します。また、様々な学問や技術を学ぶ際にその基礎となり、文化の継承と創造に欠くことができません。こうした言葉の力を生徒に身に付けさせるとともに、教師が全教育活動の推進に当たって生かし高めることで、いわゆる課題解決型の学校が実現します。

本校では平成27年度から、言葉がもつ「考える力」、「感じる力」、「想像する力」、「表す力」の四つを働かせながら、＜生かす＞、＜深める＞、＜高める＞をキーワードとして、学校が抱えがちな課題解決に向けた20の実践を組織的・計画的に積み重ねています。

「言葉の力」	組織	<p><b>課題</b> 学校経営方針が組織の全体に浸透せず、学校が抱える多様な課題に、組織を挙げて迅速に対応することができない。</p> <p>校長は課題解決に向けた経営計画を策定・周知する。副校長は、学校のチームとしての力を生かし、計画の実施・評価・改善をリードする。</p> <p><b>実践1</b> 日々の幹部会及び週ごとの運営委員会の「調整・統合」の機能強化</p> <p><b>実践2</b> 経営改善に資する学校評価の実施 —学校運営協議会の対話の促進—</p>	生かす	生徒との信頼関係	<p><b>課題</b> 人権を侵害する教師の言動等により、生徒との関係を築けなかったり、日頃の人間的な触れ合いが十分でなく、心のサインをつかめなかったりすることがある。</p> <p>生徒のよい点や進歩の状況などに着目してほめ励ますとともに、話を傾聴し、考えを引き出す。</p> <p><b>実践7</b> 教師による挨拶プラス一言運動の実施</p> <p><b>実践</b> 【生徒】いつでも誰にでも相談週間 【教師】言葉の力週間</p>
	人材	<p><b>課題</b> 教師の世代交代が進み、教育に関わる様々な経験や知見の継承が難しくなっている中、経験の浅い教師が組織運営を担う必要性が高まっている。</p> <p>経験豊かな教師が知見を継承する場と機会を設けるとともに、個々の教師の能力・適性を考慮しつつ、育成の視点に立った計画的な人材活用を行う。</p> <p><b>実践3</b> 学級経営研究会の計画的な実施</p> <p><b>実践4</b> 運営委員会における研修内容の周知及び名言を生かした自己啓発</p>		保護者との信頼関係	<p><b>課題</b> 家庭の要望や意見等を把握して教育活動に生かすことや、相互の意思疎通を図ることが十分でなく、保護者からの信頼を得られないことがある。</p> <p>問題行動の未然防止及び個々の児童・生徒の自尊感情の育成や規範意識の醸成、学力向上などの視点をもって計画的に連携を進める。</p> <p><b>実践9</b> 「行きたい」、「来てよかった」、「行って得した」保護者会の企画・運営</p> <p><b>実践10</b> 代表生徒が参加する道徳授業地区公開講座の意見交換会</p>
	地域の教育資源	<p><b>課題</b> 地区の教育資源に関する教師の知識・理解が十分ではなく、学校の教育活動に生かし切れていない。</p> <p>地区の自然や伝統・文化、人材、施設等の教育資源について、教師が理解を深め、学校の教育活動の推進に生かす。</p> <p><b>実践5</b> 「地域から学ぶ日」の企画・運営</p> <p><b>実践6</b> 青梅大祭を楽しむ</p>		地域との連携	<p><b>課題</b> 学校からの一方的な連携に終始し、双方にメリットのある連携を築けない。また、地域の要望や意見等を的確に把握できず、期待に応えることができない。</p> <p>青梅型コミュニティ・スクールとして、地域との連携を軸に、交流・協働の活性化につながる教育活動について共に考える。</p> <p><b>実践11</b> 学校運営協議会の委員との対話の促進</p> <p><b>実践12</b> 郷土の伝統・文化を学ぶ機会の設定</p>

## 考える力      感じる力      想像する力      表す力

高める			
生徒の生きる力			教師の力
学力	人間関係形成能力	感性・情緒	
<p><b>課題</b> 各種調査の結果から、思考力・判断力・表現力等を問う読解力や記述式問題、知識・技能を活用する問題に課題がある。</p> <p>国語科のみならず、各教科等に固有の言語能力を育成するため、それぞれの教科等の知識・技能を活用する言語活動の質をより一層向上させる。</p> <p><b>実践13</b> クリティカル・シンキングを取り入れた授業づくり</p> <p><b>実践14</b> 定期考査における記述式問題の出題</p>	<p><b>課題</b> 自分に自信がもてず、友達や仲間のことなどで悩むなど、人間関係の形成が困難な生徒が増加傾向にある。</p> <p>人間関係形成能力を「言葉を適切に用いて人間関係を築き、維持していく力」と捉え、学習と生活の両場面で対話に必要な言語能力を育成する。</p> <p><b>実践15</b> 生徒会による挨拶プラス一言運動</p> <p><b>実践16</b> 各教科等における対話的な学びの促進</p>	<p><b>課題</b> 心を揺り動かされる物事に出会った際、ただ直感的に捉え、例えば「わあー、すごい。」という感情表現しかできない。</p> <p>語彙を豊かにするとともに、例えば、「何が」「どのように」素晴らしいのかについて、具体的な表現を用いて伝え合えるよう、表現力を高める。</p> <p><b>実践17</b> 全校で取り組む朝の読書活動</p> <p><b>実践18</b> 生徒及び教師による「お勧め本」の紹介</p>	<p><b>課題</b> 教師に必要な四つの力のうち、「外部との連携・折衝力」と「学校運営・組織貢献力」について、校内研修等において十分取り扱われていない。</p> <p>二つの力の基盤となる「言葉の力」を、研修や日々の職務を通してより一層高めていく。また、読書を通じて、教育活動全体の基盤となる「教養・価値観・感性等」を身に付ける。</p> <p><b>実践19</b> 校務改善の企画・提案</p> <p><b>実践20</b> 保護者等への対応力を高める研修の実施</p>

